

平和の輪を広げる湘南・江の島会議

期日：平成 22 年 11 月 27・28 日

会場：神奈川県立かながわ女性センター

主催：藤沢市

藤沢市平和の輪をひろげる実行委員会

後援：日本非核宣言自治体協議会

平和市長会議

神奈川県市長会・神奈川県町村会

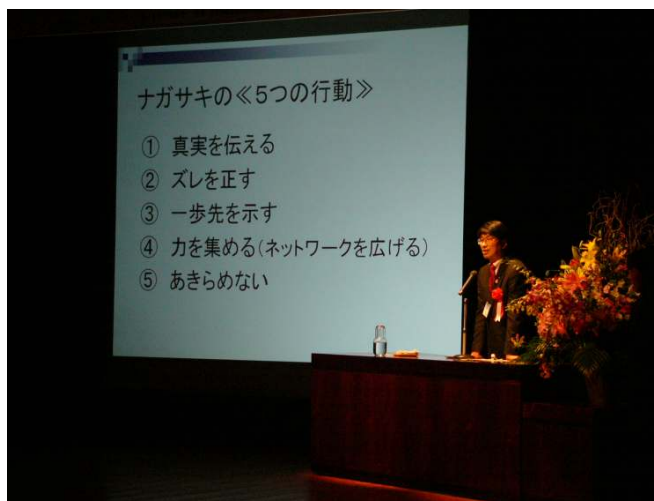


藤沢市政施行 70 周年記念事業として開催された「平和の輪をひろげる湘南・江の島会議」には藤沢市民をはじめ、神奈川県内の自治体関係者など多くの方が参加しました。本協議会も後援しており、役員都市である長崎市、広島市、枚方市の 3 市長が出席しました。

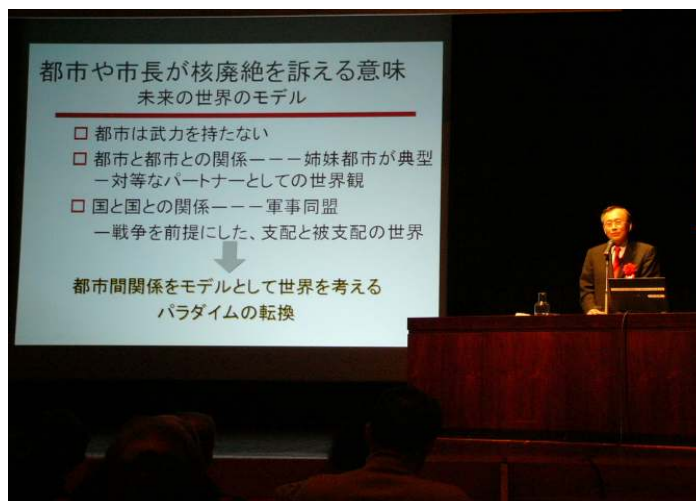
【特別講演】

日本非核宣言自治体協議会会長である田上長崎市長、平和市長会議会長である秋葉広島市長がそれぞれ講演をおこないました。田上市長は、核兵器廃絶を目指すうえで必要なのは、まず被爆の実相を知ってもらうことであり、自治体・NGO・市民がネットワークを作りともに平和活動を行っていくことだと話しました。

秋葉市長は、都市は国境を越えて連携できるとして、核を持つ国も、持たない国も、また、戦争中の国であっても、都市同士が連携し、核兵器廃絶を目指さなければならないと話しました。



田上長崎市長



秋葉広島市長



湯浅一郎氏

【特別平和パネルディスカッション】

コーディネーター：湯浅一郎氏（NPO法人ピースデポ代表）

パネリスト：田上富久氏

（長崎市長、日本非核宣言自治体協議会会長）

秋葉忠利氏

（広島市長、平和市長会議会長）

竹内脩氏

（枚方市長、日本非核宣言自治体協議会副会長）

小笠原公子氏

（フェリス女学院大学ボランティアセンター）

海老根靖典氏

（藤沢市長、日本非核宣言自治体協議会副会長）



田上長崎市長



秋葉広島市長



竹内枚方市長



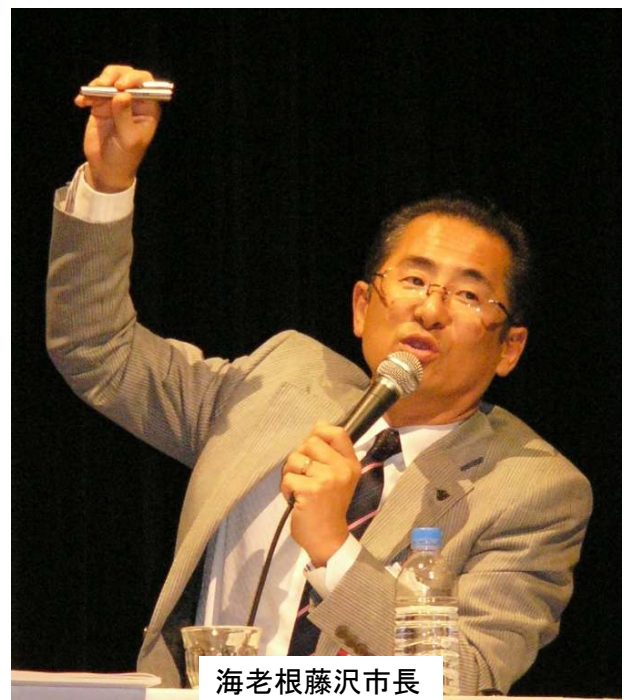
小笠原公子氏

NPO法人ピースデポ代表の湯浅氏をコーディネーターに迎え、冒頭、竹内枚方市長、海老根藤沢市長、小笠原公子氏からそれぞれの取り組みについて発表がなされました。

4市長は、5月に行われた核不拡散条約（NPT）再検討会議にあわせてニューヨークを訪れ、様々な平和アピール活動を行っており、その成果や今後につながっている取り組みなども紹介されました。

その後の意見交換では、長崎・広島以外の都市や市民・NGOがどのように平和運動に取り組めばよいのか、どう連携していくのかということテーマに議論がおこなわれました。

また、会場との質疑応答も行われ活発な意見交換が行われました。



海老根藤沢市長

【湘南・江の島自治体平和アピール会議】



神奈川県内の34自治体（神奈川県を含む）は全て非核・平和都市宣言を行っています。このうち、会議には10首長を含む23自治体に参加し、それぞれの自治体での取り組みが発表され、熱気に包まれました。また、ゲストとして出席した長崎・広島・枚方市長も自治体同士の連携の必要性を訴えました。会議では、神奈川県内全34自治体連名による「湘南・江の島 かながわ自治体平和アピール」が決議されました。

【4市長と市民NGOとの対話集会】

長崎・広島・枚方・藤沢市長と神奈川県内の市民NGOによる対話集会が行われました。NGOの代表者からは日頃の平和活動が紹介され、ピースフォーラム（長崎市への派遣学習）などに参加した若い世代からも将来に向けて平和活動を継続していきたいと話がありました。

4市長からも自治体と市民、NGOが連携し、地道に粘り強く平和活動を続けていくことが大切だという話がありました。



【語り部による被爆体験のお話】



被爆者の新宮弘道氏



藤沢市平和の輪をひろげる実行委員会 新宮 弘道氏による被爆体験の講話が行われ、多くの学生や親子が熱心に話を聞きました。

上記以外にも、山下泰裕氏（ロスアンゼルスオリンピック金メダリスト）による基調講演「スポーツ・国際交流、そして平和」、子どもたちによる平和紙芝居「瞳の中の子どもたち」の上演、市民・NGO交流会議、平和学習・長崎派遣事業参加者による討論会などが行われました。

また、自治体、市民、子どもたちによる平和アピール文がそれぞれ採択されました。

会議の詳細な内容はこちらをご覧ください。

藤沢市ホームページ

<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kyousei/page100030.shtml>

【会場での展示（ホール前ロビー）】



ミニミニ原爆展



平和の輪をひろげる実行委員会 平和展

